



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 宮越ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6620 URL <https://www.miyakoshi-holdings.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 宮越 邦正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 板倉 啓太 TEL 03-3298-7111
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	391	△62.0	△333	—	△839	—	△1,937	—
2025年3月期	1,030	△9.4	284	△32.6	552	△28.2	365	△31.8

(注) 包括利益 2026年3月期 △1,901百万円 (—%) 2025年3月期 1,347百万円 (39.2%)

	1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	営業収益営業利益率
	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△48.42	△7.6	△3.0	△85.1
2025年3月期	9.14	1.4	2.0	27.6

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	26,506	26,093	92.5	612.70
2025年3月期	28,863	27,994	91.2	657.87

(参考) 自己資本 2026年3月期 24,516百万円 2025年3月期 26,323百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△906	2,821	△0	5,485
2025年3月期	473	△530	△0	3,359

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	410.4	△700	—	△363	—	△345	—	△8.62

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	40,014,943株	2025年3月期	40,014,943株
② 期末自己株式数	2026年3月期	996株	2025年3月期	960株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	40,013,977株	2025年3月期	40,013,993株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループの事業拠点である中国・深圳市は、グレーターベイエリア（粵港澳大湾区）の中心都市として海外からも注目され、特にAI・IT関連、先端医療、EV・モビリティ、ロボティクスなどのハイテク産業への集中投資やスタートアップ企業への支援により、地域経済の活性化を進め、2025年の深圳市のGDPは約89兆円で前年比5.5%の伸び率を達成しております。

このような状況下、当社グループが深圳市で推進する「ワールド・イノベーション・センター（以下「WIC」）」プロジェクトは、地元当局から実質的な開発許可を取得し、2026年の着工、2030年のグランドオープンを目指しております。これに伴い、建物及び構築物等の取り壊しを進めており（2026年1月7日プレスリリース）、子会社の深圳皇冠（中国）電子有限公司（以下「皇冠電子」）が保有する固定資産（主に土地使用权）について、減損損失848百万円及び取壊費用等95百万円を特別損失に計上し、一方で財務の健全化に向けて長期貸付金を保守的に評価した結果、貸倒引当金944百万円を営業外損失に計上いたしました。

その結果、当連結会計年度における経営成績は営業収益391百万円（前期比62.0%減）、営業損失333百万円（前期比―%）、経常損失839百万円（前期比―%）、親会社株主に帰属する当期純損失1,937百万円（前期比―%）を計上いたしました。

不動産開発事業について

当社子会社の皇冠電子が推進しておりますWICプロジェクトは、世界30ヶ国のフォーチュングローバル500企業を始めとした先進的の大手外資企業200社超が中国本社機能や本格的なR&D施設若しくはマーケティング拠点を設立し、WICの14省・4直轄市との連携による企業情報プラットフォーム等のビジネスサービスを楽しむことで、事業における新たなイノベーションを創出し、中国はもとより世界に向けての事業拡大を支援する大規模なイノベーションプロジェクトです。

WICプロジェクトは、現在先行して進めている01-01区画について、株式会社日建設と深圳市華陽国際工程設計株式有限公司が方案設計を完成し、現在、既存建物の解体工事を進めております。また、深圳市から01-01区画の開発実施主体と同区画の建設指標の規制修正案が承認され、実質的な開発許可を取得し、完成後の不動産評価額は約3,385億円（2026年3月31日の為替相場23.11円/1人民元により換算）と見込まれ、当社の成長戦略における重要な基盤となります。

なお、WIC開発に伴うテナント退去及び建物解体工事の進行により、皇冠電子が保有する土地使用权は一旦返還し、先行している01-01区画について、新たに50年の土地使用权を取得することになります。現時点で想定している新たに取得する当該土地使用权の費用は、皇冠電子が土地使用权保有者による都市更新再開発であるため、深圳市政府の都市更新政令に基づき、既に開発許可が実質的に承認された研究開発用建物延床面積25.1万㎡は土地使用权の費用が免除され、商業施設及び宿舍延床面積9万7千㎡を対象に算出される予定です。

一方で、深圳市政府の委嘱を受けて精力的に行っている企業誘致活動では、日本の上場企業を中心とした先進的優良企業と、欧米のフォーチュングローバル500企業を中心とする大手企業が、WICへの進出意向を表明され、入居承諾書或いは進出意向書を提出頂いております。今後開発手続きが進むに従ってWICへの進出希望企業はさらに増えてまいります。

また、WICにおいては進出企業の賃料収益のみならず、企業誘致を進める過程で得られた実需をもとに、進出企業及び14省・4直轄市に集積するドローンなどモビリティやAI関係の大手企業やスタートアップ企業の技術を生かす様々なサービスを提供するイノベーション事業に取り組みます。その第一歩として、半導体、ロボティクス等の分野で高い技術を持つ中国企業と連携し、当社グループが日本代理店を担うビジネスを組成してまいります。イノベーション事業を、WIC開業後には賃料と並ぶ収益事業に育てる計画の構築を進めております。

当社は総合投資会社を標榜しており、同プロジェクトを投資事業の第1号案件と位置付け、WICが単なる賃貸案件ではなく、環境・社会・ガバナンス（ESG）を重視した顧客との価値共創を通じ、当社グループの持続的発展の基礎となるプロジェクトを目指しております。

当社グループの報告セグメントは、「不動産開発及び賃貸管理」のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は、26,506百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,357百万円減少いたしました。この主な要因は、土地使用権の減損及び貸倒引当金の計上によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、413百万円となり、前連結会計年度末に比べ456百万円減少いたしました。この主な要因は、預り保証金の減少によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、26,093百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,901百万円減少いたしました。この主な要因は、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ2,125百万円増加し、5,485百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、906百万円減少（前期は473百万円の増加）いたしました。これは主に、税金等調整前当期純損失の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、2,821百万円増加（前期は530百万円の減少）いたしました。これは主に、定期預金の解約によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、0百万円減少（前期は0百万円の減少）いたしました。

(4) 今後の見通し

今後の業績見通しにつきましては、深圳プロジェクトの進捗に伴い、WICのグランドオープンまで賃料収入が見込めない一方で、イノベーション事業を新規に立ち上げ、中国企業からの半導体、電子部品等の輸入販売等の事業に参入いたします。

それらの事象を勘案した次期の通期連結業績見通しは以下のとおりです。

営業収益	2,000百万円（前期比410.4%増）
営業損失	700百万円（前期比―%）
経常損失	363百万円（前期比―%）
親会社株主に帰属する当期純損失	345百万円（前期比―%）

上記の業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により予想と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面の間は日本基準を用いて連結財務諸表の作成を行う方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,844	11,359
営業未収入金	56	15
その他	895	989
貸倒引当金	△1	△11
流動資産合計	12,794	12,353
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,888	0
減価償却累計額	△2,888	-
建物及び構築物(純額)	0	0
機械装置及び運搬具	24	0
減価償却累計額	△22	-
機械装置及び運搬具(純額)	2	0
その他	95	99
減価償却累計額	△91	△95
その他(純額)	3	4
建設仮勘定	631	1,052
有形固定資産合計	638	1,056
無形固定資産		
土地使用権	935	0
その他	0	0
無形固定資産合計	936	0
投資その他の資産		
長期貸付金	13,571	13,531
繰延税金資産	179	-
その他	743	504
貸倒引当金	-	△940
投資その他の資産合計	14,494	13,095
固定資産合計	16,069	14,152
資産合計	28,863	26,506

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	54	36
賞与引当金	4	5
解体撤去引当金	-	55
その他	300	96
流動負債合計	358	194
固定負債		
繰延税金負債	76	82
退職給付に係る負債	9	8
その他	424	128
固定負債合計	510	219
負債合計	869	413
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,217	9,217
資本剰余金	8,962	8,962
利益剰余金	6,445	4,507
自己株式	△0	△0
株主資本合計	24,624	22,686
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,699	1,829
その他の包括利益累計額合計	1,699	1,829
非支配株主持分	1,670	1,576
純資産合計	27,994	26,093
負債純資産合計	28,863	26,506

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業収益	1,030	391
営業原価	207	198
営業総利益	822	193
販売費及び一般管理費	538	526
営業利益又は営業損失(△)	284	△333
営業外収益		
受取利息	281	326
為替差益	-	108
その他	0	2
営業外収益合計	282	438
営業外費用		
為替差損	13	-
貸倒引当金繰入額	-	944
営業外費用合計	13	944
経常利益又は経常損失(△)	552	△839
特別損失		
減損損失	-	848
その他	-	95
特別損失合計	-	944
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	552	△1,783
法人税、住民税及び事業税	242	105
法人税等調整額	△95	177
法人税等合計	147	282
当期純利益又は当期純損失(△)	404	△2,066
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	39	△129
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	365	△1,937

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	404	△2,066
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	942	165
その他の包括利益合計	942	165
包括利益	1,347	△1,901
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,167	△1,807
非支配株主に係る包括利益	180	△94

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,217	8,962	6,079	△0	24,258
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			365		365
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	365	△0	365
当期末残高	9,217	8,962	6,445	△0	24,624

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	897	897	1,490	26,646
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純利益				365
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	802	802	180	982
当期変動額合計	802	802	180	1,347
当期末残高	1,699	1,699	1,670	27,994

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,217	8,962	6,445	△0	24,624
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△1,937		△1,937
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△1,937	△0	△1,937
当期末残高	9,217	8,962	4,507	△0	22,686

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,699	1,699	1,670	27,994
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△1,937
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	130	130	△94	36
当期変動額合計	130	130	△94	△1,901
当期末残高	1,829	1,829	1,576	26,093

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	552	△1,783
減価償却費	70	53
のれん償却額	39	—
減損損失	—	848
長期前払費用償却額	244	240
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24	949
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	0	△0
受取利息	△281	△326
為替差損益(△は益)	6	△121
営業債権の増減額(△は増加)	30	39
その他	△133	△903
小計	504	△1,004
利息の受取額	243	247
法人税等の支払額	△275	△130
法人税等の還付額	0	0
その他	0	△19
営業活動によるキャッシュ・フロー	473	△906
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△343	△374
長期前払費用の取得による支出	△1	—
貸付金の回収による収入	38	40
定期預金の預入による支出	△1,662	△118
定期預金の払戻による収入	1,529	3,394
その他	△90	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△530	2,821
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△0	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	155	210
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	98	2,125
現金及び現金同等物の期首残高	3,261	3,359
現金及び現金同等物の期末残高	3,359	5,485

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの報告セグメントは、「不動産開発及び賃貸管理事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
1株当たり純資産額	657円87銭	612円70銭
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)	9円14銭	△48円42銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 算定上の基礎

(1) 1株当たり当期純資産額

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	27,994	26,093
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	1,670	1,576
(うち非支配株主持分)	(1,670)	(1,576)
普通株式に係る当期末の純資産額(百万円)	26,323	24,516
1株当たり純資産額の算定に用いられた当期末の普通株式の数(株)	40,013,983	40,013,947

(2) 1株当たり当期純利益金額又は1株当たりの当期純損失金額

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	365	△1,937
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	365	△1,937
普通株式の期中平均株式数(株)	40,013,993	40,013,977

(重要な後発事象)

該当事項はありません。